

いやす でんどうしゃ レムナント

Ⅱ テモテ  
2章 7～8節

私<sup>わたし</sup>が言<sup>い</sup>っていることをよく考<sup>かんが</sup>えなさい。主<sup>しゅ</sup>はすべてのことについて、理解<sup>りかい</sup>する力<sup>ちから</sup>をあなたに必ず与<sup>あた</sup>えてくださいます。私<sup>わたし</sup>の福音<sup>ふくいん</sup>に言<sup>い</sup>うとおり、ダビデの子孫<sup>しよん</sup>として生まれ、死者<sup>しよしや</sup>の中からよみがえったイエス・キリストを、いつも慰<sup>なぐさ</sup>めていなさい。

世界<sup>せかい</sup>には、国<sup>くに</sup>が定<sup>さだ</sup>めた制度<sup>せいど</sup>によって、義務<sup>ぎむ</sup>として軍隊<sup>ぐんたい</sup>に行<sup>い</sup>かなければならぬ国<sup>くに</sup>がいくつもあります。その一<sup>ひとつ</sup>として韓国<sup>かんこく</sup>の場合<sup>ばあい</sup>、2年<sup>ねん</sup>ほど家族<sup>かぞく</sup>を離<sup>はな</sup>れて規則<sup>きそく</sup>的な生活<sup>せいかつ</sup>を送<sup>おく</sup>りながら、兵士<sup>へいし</sup>としての訓練<sup>くんれん</sup>を受けなければなりません。このとき、多く<sup>おほく</sup>の人が、それまで生きてきた中<sup>なか</sup>で生まれた霊<sup>れい</sup>的問題<sup>てきもん</sup>、精神<sup>せいしん</sup>問題<sup>もんだい</sup>、人間<sup>にんげん</sup>関係<sup>かんけい</sup>の問題<sup>もんだい</sup>に苦<sup>くる</sup>しみます。このような軍隊<sup>ぐんたい</sup>に、福音<sup>ふくいん</sup>を持<sup>も</sup>つ伝道<sup>でんどう</sup>者<sup>しや</sup>がいたら、どうでしょうか。なぜそのような問題<sup>もんだい</sup>がきたのかをおしえて、問題<sup>もんだい</sup>を解決<sup>かいけつ</sup>する答<sup>こた</sup>えを与<sup>あた</sup>えられるでしょう。このように、福音<sup>ふくいん</sup>の答<sup>こた</sup>えを持<sup>も</sup>っているなら、軍隊<sup>ぐんたい</sup>だけでなく、どこへ行<sup>い</sup>っても福音<sup>ふくいん</sup>で同僚<sup>どうりやう</sup>をいやして生<sup>い</sup>かすことができます。

神様<sup>かみさま</sup>は、私<sup>わたし</sup>の中<sup>なか</sup>に福音<sup>ふくいん</sup>を刻<sup>こく</sup>印<sup>いん</sup>するために、テモテのように幼<sup>おきな</sup>い時<sup>とき</sup>から導<sup>みちび</sup>いておられます。私<sup>わたし</sup>を生<sup>い</sup>かして、他<sup>ほか</sup>の人<sup>ひと</sup>を生<sup>い</sup>かす者<sup>もの</sup>として準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>しておられるのです。いま、私<sup>わたし</sup>が体験<sup>たいけん</sup>している問題<sup>もんだい</sup>を福音<sup>ふくいん</sup>を通<sup>とお</sup>して見<sup>み</sup>てみましょう。それから、すべての問題<sup>もんだい</sup>に完<sup>かん</sup>ぺきな答<sup>こた</sup>えをくださる神様<sup>かみさま</sup>に祈<sup>いの</sup>りしましょう。神様<sup>かみさま</sup>は、そのような私<sup>わたし</sup>を、福音<sup>ふくいん</sup>で現場<sup>げんば</sup>をいやす伝道<sup>でんどう</sup>者<sup>しや</sup>、レムナントとしてたてくださるでしょう。

きょうのみことば

---



---



---



---

きょうのいのり

神様<sup>かみさま</sup>、ありがとうございます。きょうも、正<sup>せい</sup>確<sup>かく</sup>な福音<sup>ふくいん</sup>に集<sup>しゆ</sup>中<sup>ちゆう</sup>できるように導<sup>みちび</sup>いてください。また問題<sup>もんだい</sup>の原因<sup>げんいん</sup>と答<sup>こた</sup>えを持<sup>も</sup>ったレムナント伝道<sup>でんどう</sup>者<sup>しや</sup>として育<sup>そだ</sup>つように導<sup>みちび</sup>いてください。生<sup>い</sup>きておられるイエス・キリストのお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン

テモテは、幼<sup>おきな</sup>いときから福音<sup>ふくいん</sup>の霊<sup>れい</sup>的<sup>てき</sup>な兵士<sup>へいし</sup>として神様<sup>かみさま</sup>が準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>されました。神様<sup>かみさま</sup>は私<sup>わたし</sup>にもテモテのように成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>するように導<sup>みちび</sup>いてくださっています。神様<sup>かみさま</sup>がテモテに与<sup>あた</sup>えられた契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>を聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>から見<sup>み</sup>つけて、( )を埋<sup>う</sup>めましょう。

そこで、わが子<sup>こ</sup>よ。( )ある( )に  
よって強<sup>つよ</sup>くなりなさい。多<sup>おほく</sup>くの証<sup>しょう</sup>人<sup>にん</sup>の前<sup>まえ</sup>で私<sup>わたし</sup>から  
( )を、他<sup>ほか</sup>の人<sup>ひと</sup>にも教<sup>おし</sup>える力<sup>ちから</sup>のある  
忠<sup>ちゆう</sup>実<sup>じつ</sup>な人<sup>ひと</sup>たちにゆだねなさい。  
( )のりっぱな( )として、  
私<sup>わたし</sup>と苦<sup>くる</sup>しみをともしてください。( )について  
いながら、日<sup>にち</sup>常<sup>じょう</sup>生活<sup>せいかつ</sup>のことに掛<sup>か</sup>かり合<sup>あ</sup>っている者<sup>もの</sup>は  
だれもありません。それは徴<sup>ちゆう</sup>募<sup>ぼ</sup>した者<sup>もの</sup>を喜<sup>よろこ</sup>ばせるためです。  
また、( )をするときも、規<sup>きてい</sup>定<sup>てい</sup>に従<sup>したが</sup>って競<sup>きやう</sup>技<sup>ぎ</sup>を  
しなれば栄<sup>えい</sup>冠<sup>かん</sup>を得<sup>え</sup>ることはできません。  
労<sup>ろう</sup>苦<sup>く</sup>した( )こそ、まづ第<sup>だい</sup>一<sup>いち</sup>に収<sup>しゆう</sup>穫<sup>かく</sup>の分<sup>わ</sup>け前<sup>まえ</sup>に  
あずかるべきです。  
Ⅱ テモテ 2:1～6



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび しりょう 準備する資料

---



---



---

# 05

## レムナントのダビデの けいやくの りよてい

かようび

I サムエル  
17章 45節

ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。」

神様は私たちに福音をプレゼントとしてくださいました。そして、全世界に福音を宣傳伝えるレムナントとして私たちを立たせ、導いてくださっています。これが契約の旅程です。契約の旅程を歩むためには、先に契約の中になければなりません。どんなに立派な人でも、契約の外にいと、失敗して崩れて、苦しむようになるのです。それなら、契約の中にとはどういうことでしょうか。

レムナントのダビデは、幼いときから契約の中にいました。両親と兄たちを手伝いながら、ダビデはその現場で福音を契約として握りました。賛美しながら、最善を尽くしました。その結果、ダビデはペリシテ軍が攻め込んでくるといふ大きな問題の前で、大胆に福音を宣言して、ゴリヤテに勝つ証人になりました。

いまから、神様が私に最も願っておられることと、神様が私にくださるみことばは何かを見つけてみましょう。レムナントのダビデのように、幼い時から福音をのがさないで、神様が私にくださった契約を味わっているなら、契約の旅程の中で神様が証人として立たせてくださるでしょう。

きょうのみことば



Handwriting practice lines for the lesson.

きょうのいのり



神様、ありがとうございます。どんな問題と状況の中でも、ダビデのように契約の旅程の中で証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを  
適用しよう

下の英文は、大胆に福音を宣言して、ゴリヤテに勝ったダビデの告白です。抜けている単語を、上の英単語から見つけて正しいところに書き入れましょう。

God, LORD, David, Israel, Philistine, name

Then \_\_\_\_\_ said to the \_\_\_\_\_,  
“You come to me with a sword and with  
a spear and with a javelin, but I come  
to you in the \_\_\_\_\_ of the \_\_\_\_\_ of hosts,  
the \_\_\_\_\_ of the armies of \_\_\_\_\_,  
whom you have defied.”

1 Samuel 17:45, ESV

きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

Handwriting practice area for the lesson.

# 06

## かみさまが じゅんぴされた でし

すいようび

### Ⅰサムエル 17章45~47節

きょう、主はおまえを私の手に渡される。私はおまえを打って、おまえの頭を胴体から離し、きょう、ペリシテ人の陣営のしかばねを、空の鳥、地の獣に与える。すべての国は、イスラエルに神がおられることを知るであろう。この全集固も、主が剣や槍を使わずに救うことを知るであろう。この戦いは主の戦いだ。主はおまえたちをわれわれの手に渡される。」(46-47)

ダビデが神様を侮辱するペリシテ軍のゴリヤテの前で、大胆に神様がなさることを告白しました。勇気があって、良い信仰だったからではありません。ダビデは幼いころから、神様の契約を知っていたからです。羊の世話をしていた牧場では、神様の契約を刻印しながら霊的祝福を味わっていました。神様はそのようなダビデに、大預言者サムエルを送って、王になることと、神殿をつくることを契約として与えられました。神様がダビデを幼いころからイスラエルの王として準備されたのです。神様が準備された弟子として用いるためでした。

ダビデのように、神様が準備された弟子は、正確に福音を知っている人です。その一人が行く所では、暗やみの勢力が崩れます。困難の中でも、神様がともにおられることをのささないからです。そして、いつも心が平安で、強い力を持っています。

私達も神様に準備された弟子として世の中へ出て行くときがくるでしょう。今日から毎日、ダビデが持っていた契約を握る。最も大切な時間を過ごしましょう。そのとき、問題を作品にしたダビデのように、神様がくださった契約で作品を残すための力を少しずつ積みあげていっていきましょう。

### きょうのみことば

### きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ダビデに与えられた契約を、私の契約としてにぎる日になるように、導いてください。問題を作品にする霊的な祝福を知ることができるよう。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



2月は、どんな本を読みましょうか



### かみさま おおもち 神様に大きく用いられた せかい でんどうおう 世界の伝道王

著者：フン・イルグオン、出版社（韓国）キョジャシ

幼いときから、どんな契約を心に抱いて成長するのが、とても重要です。神様は私達をダビデと同じく用いるために準備してくださっています。『神様に大きく用いられた世界の伝道王』ドワイト・ムーディーもやはり、神様が育てられた弟子です。彼は、キリスト教の歴史上、最も伝道をした人だと言われています。彼の生きた時代は、今はちがってインターネットや自動車がありませんでした。そんな時代でも、神様はムーディーを通して、なんと、200万人以上がイエス様を信じて受け入れるようにされました。彼を最高の伝道者として用いられたのです。それだけではありません。彼がしていた子ども伝道は、日曜学校（教会学校）のモデルになりました。

2月は「神様に大きく用いられた世界の伝道王」を読みながら、神様が準備された弟子はどのような姿勢を持っていたのか発見できるように祈りましょう。神様に最後まで用いられる弟子として導かれるでしょう。

(訳者注：この本は、韓国語です。日本語版はありません)

### きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんぴ  
準備する資料

Blank lined area for writing names and preparation materials.

# 07

## れいてき しゆくふくを しる ひとりの ひと

もくようび

使徒  
8章 34~35節

宦官はピリポに向かって言った。「預言者はだれについて、こう言っているのですか。どうか教えてください。自分についてですか。それとも、だれかほかの人についてですか。」ピリポは口を開き、この聖句から始めて、イエスのことを彼に宣べ伝えた。

今日、私の信仰を点検してみましょう。世界の人は、教会に通う人と通わない人の2つに分けられます。そして、教会に通う人も、イエス・キリストの福音を知っている人と知らない人の2つに分けられます。また、福音を知っている人も、霊的祝福を味わっている人と、味わうことができない人の2つに分けられます。

福音を知って、霊的祝福を知っている人は絶対弟子です。絶対弟子は、心配する必要がありません。すべてのこと、すべての出会いに神様の計画があることを知っているので、待つ導きを受けることができるからです。絶対弟子だったピリポは、神様が備えた絶対出会いによって、エチオピアの宦官という重要な絶対弟子に会いました。

福音を持っている私にも、霊的祝福があります。私の友だち、先生との出会いを神様から与えられた霊的な目で見ると祈りましょう。神様は私を絶対福音で影響を与える人として導いてくださるでしょう。また、福音を伝える絶対出会いをくださるでしょう。ピリポとエチオピアの宦官の出会いのように。



きょうのみことば

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様がくださる霊的な目で、福音を悟って、霊的祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストの名前によってお祈りします。アーメン

かくれている  
絵をさがそう

神様が福音を持ったピリポに、エチオピアの宦官をつけてくださいました。その姿を描いた絵に隠れている絵を10個、見つけながら、霊的祝福を持っている絶対弟子としての出会いを祈りましょう。



ゆきだるま、パン、魚、ピザ、セロハンテープ、バナナ



きょうのでんどう

あ ひと  
会う人

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

じゆんび しろよう  
準備する資料

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



# 08 わたしを かえよう

きんようび

## ガラテヤ 2章 20節

わたしはキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

私たちはどんなときにも、契約の旅程に従って行くべきです。神様が成し遂げてくださる契約の民だからです。私たちが契約から外れるなら、神の子どもに当然与えられている霊的祝福をのがすようになります。契約について行くことが難しいならば、契約について行けるように私を変えなければなりません。

しかし、実際には私を変えるということは不可能です。すでに先祖代々受け継がれてきた誤った刻印、根、体質があるからです。ですから、神様は絶対可能になるためのことをくださいました。福音であるイエス・キリストです。イエス・キリストを握って、福音を味わう深い祈りの中に入ることをはじめましょう。そうすれば、いやしを味わう集中祈りと、サミットへ行く定刻祈りを発見する、まことの答えが訪いてくるでしょう。今日から私を変える時刻表の中に入って、まことの答えを味わいましょう。



### きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



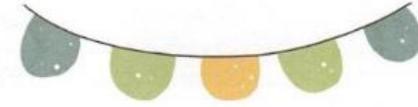
### きょうのいのり

神様、ありがとうございます。イエス・キリストを握って、誤った刻印、根、体質を変える祈りの奥義を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



### みことばを適用しよう

私はどんなお祈りをしていますか。私の祈りが福音であるイエス・キリストを黙想する祈りであるか、確認しましょう。私を変えるまことの祈りの奥義を味わうようになるでしょう。



私の祈りの課題

私の祈りの内容

祈りの課題と祈りの内容を書いて感じた点



### きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing names of people to meet.

Blank lines for writing preparation materials.

きょうかいを いかそう

使徒  
1章 14節

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

教会は、主が言われた「ただ」の奥義を持っている所です。その、ただには、とても大きな集中の力が隠れています。その奥義を持っていた初代教会の信徒は、40日間、また、10日間集中しました。他の人たちが見て、酒に酔っているとかんちがいされたほどだったのです。言い換えるなら、他人から見て、完全に違って見えるほどに味わっていたということです。このような集中を体験するようになれば、神様が備えてくださったみわざが起きようになります。

初代教会の信徒が集中を体験した後から、行く先々で神の国が臨む唯一性の答えを味わいました。私たちも彼らのように、神様がくださった契約を握って、集中して祈って待ちましょう。神の国が臨む答えとみわざが必ずくるからです。このとき、教会の弱いところ、崩れたところが見えてきます。その部分を生かせる、だれも防ぐことのできない再創造の答えがくるようになります。これが初代教会の持っていた力です。私たちも、この力の中で、教会を生かす祝福を味わいましょう。



きょうのみことば



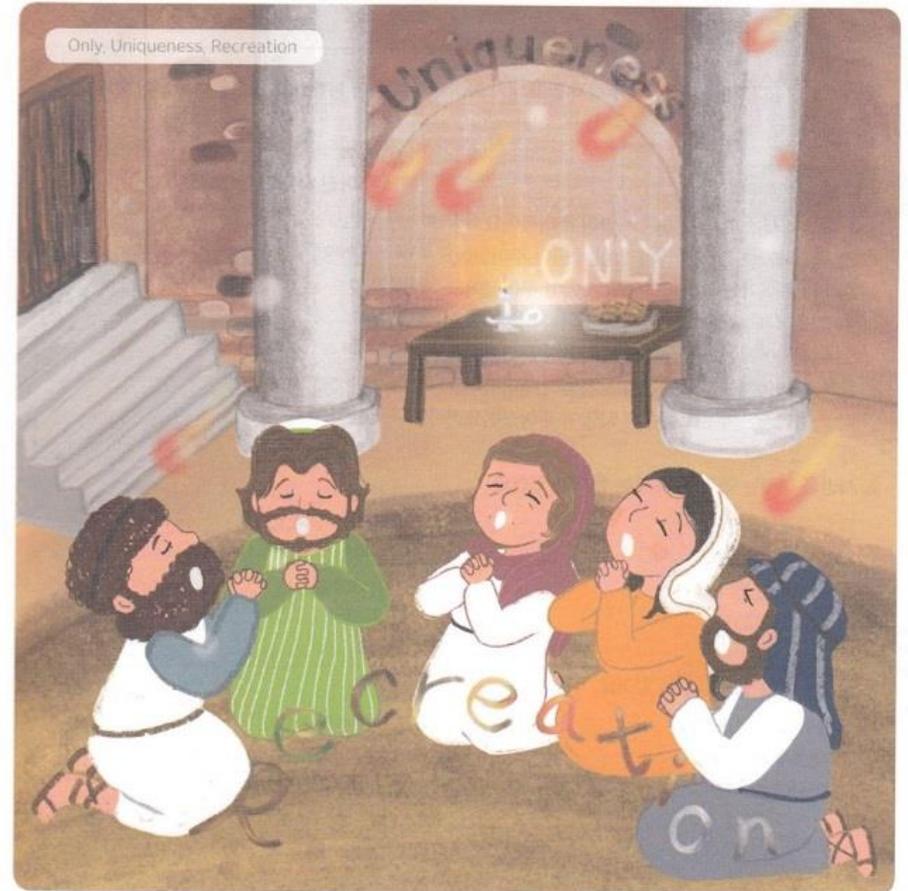
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様がくださった、ただ、唯一性、再創造の力によって教会を生かす祝福を味わうように、恵みをください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちよつと  
きゅうけい

初代教会の信徒は、イエス様の最後の約束を握って、十日間、集中して祈りました。祈ったあとに受けた、3つの祝福を表す英単語が絵に隠れています。見つけて、確認しましょう。



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんぎ  
準備する資料

Grid area for notes.

Blank lines for notes.